

【目次】

- ・巨石文明について(TOLAND VLOG より)……………[2ページ目]
- ・仏教の教え (AmritaChannel より)……………[9ページ目]
- ・この世の真実、真実の歴史について(考え方の学校 Yoshi Sun TV より)…………… [17ページ目]
- ・[新記事]スピリチュアルのワークと世界樹との関係についての考察(+クンダリーニー・ヨーガ)
……………[39ページ目]
- ・精神性の向上と霊的感性の向上による真理への目醒め……………[51ページ目]
- ・『僕が宇宙の仲間に聞いたこと』(著:中村咲太)を紹介したい……………[53ページ目]
- ・(【宇宙くんの手紙】中村咲太 より)「源の先には何がある? ★宇宙に意味を与える存在」の
内容を紹介します…………… [58ページ目]
- ・『スピリチュアルゲームとしてのポケモン Go 遊んでいるうちに悟れたりする』(著:豊川博圭)
を紹介します…………… [60ページ目]
- ・[新記事]ヨーガ・スートラの内容について…………… [63ページ目]
- ・「二極化」と「目醒め」の真実について(しんたん スピリチュアル 3.0 より)……………[69ページ目]
- ・お金の本質と、現実の本質について、私個人の解釈…………… [71ページ目]
- ・もしも地球が「お金のいない国」だったら(【宇宙くんの手紙】中村咲太 より) [74ページ目]

【巨石文明について(TOLAND VLOG より)】

～位山について～

- ・正統竹内文書によると神々が最初に降り立った地が位山と言われている
- ・天皇陛下の儀式で実際に、位山のイチイの木でつくられている笏を使っている
- ・位山に入山する前に、飛騨一宮水無神社にご挨拶
水無神社の奥宮が、位山の頂上付近にある
- ・位山は UFO の目撃情報が多数ある
- ・巨石群がある
- ・頂上付近に天の岩戸があるとされている
- ・ペトログリフも見つかっている
- ・位山の頂上が高天原であったという説もある
- ・太陽御神殿:1953年に都竹峰仙氏という彫刻家が位山を登った時、大龍神が立ち昇って、声を聴き建てられた
天の常立大御神
天照日の大御神
國常立の大御神
- ・大自然位山太古のピラミッド
- ・禊岩
- ・御門岩
- ・朧岩
- ・御魂岩

- ・天の岩戸
ペトログリフが刻まれている
ここの一番上で祈っていた
裏には鏡岩がある

- ・御神水

文献:https://youtu.be/KeBjEOhYA_w

～岐阜県飛騨地域にある金山巨石群について～

- ・岩屋岩陰遺跡

巨石自体が太陽の観測所になっている
古代の人は、この岩を見て、春分の日、秋分の日、夏至や冬至を測っていた

冬至の太陽に沿って削れている巨石
北斗七星をそのままトレースされたかのように表している穴

秋分の日にぴったり太陽が差し込む巨石
1つ1つの石の中の磁場が全部違う方向を向いていることから、人為的に巨石を動かして設置していないとおかしいということになる
少なくとも4～5千年前の縄文時代中期に設置された

夏至の太陽観測ができる巨石
計算され尽くされている構造になっている

宇宙のことを熟知していないと造れない
現代の科学でも造るのは非常に大変

すぐ近くの祠には、乙姫伝説がある
龍蛇の姿をしたお姫様の伝説

文献:<https://youtu.be/YaSdgEr0K0E>

～この世の秘密が記された「皆神山」について～

・皆神山

昔から神の宿る山、あるいは霊山として信仰の拠点であった
天の岩戸伝説がある

世界最大で最古の皆神山ピラミッド

皆神山の造山方法はエジプトのピラミッドのように人の労力ではなく、
重力制御技法によって当時、長野盆地が遊水湖沼だった岸のゴロタ石など堆積土砂
石を浮揚させ、空間移動させるダイナミックな方法であった
その影響で今でも皆神山山塊だけが非常に軽く負の重力異常山塊になっている

皆神山は、古い古墳時代や弥生時代、更に遡っての縄文時代やエジプト・インダス・
黄河・シュメール各文明よりずっと古い今から2～3万年前の超古代ともいべき遠い
旧石器の時代に造られた

この皆神山を造ったのは、古事記に出てくる須佐之男命で現代科学とは全く異質では
るかに優れた高い知的能力をもつ人類であった

(旧人ネアンデルタール人系)

須佐之男命:自然主義的な科学技術者の集団の総称

墳墓ではなく、地球上の各地や宇宙空間への航行基地として造られた

皆神山ピラミッドの祭神は、知力・体力の神

超太古の宇宙航行基地である皆神山の祭神は従って、高度の知的能力集団で宇宙
航行や宇宙基地に関係する四神

熊野出速雄命:宇宙船(天の羅摩船)等の航行技術・管理を引き継いだ最後の集団
で、北信地方の開拓祖神

少名毘古那神:宇宙船で皆神山航行基地を離着した大国主命の参謀集団

泉津事解男神:皆神山航行基地をはじめ全宇宙基地を管理した集団

速玉男神:地球周回軌道の人工衛星(宇宙航行の中継基地)の技術者の集団

このように皆神山は神々が活躍した基地であり、宇宙船で現れたり姿を消したりしたので、自然人たちは神聖な山＝高天原として崇め、後世に伝えた

・大国主、ニギハヤヒ、タケミナカタ、このあたりは宇宙人感がある

・北極星信仰、宇宙信仰

縄文中期、シュメール

文献:<https://youtu.be/1Kxybw0S394>

～巨石文明より～

・古代の巨大建造物の多くは、春分の日、秋分の日に特別なことが起こるように設計されている

古代の巨大建造物は、巨大な天体時計であった

・スフィンクスが見ている真東が春分点

春分点に時に位置する星座をずっと見ている

スフィンクスが水瓶座を観測した時に、何かが起こる？

縦に侵食した跡がある つまり、1回水に浸かっている跡がある

⇒洪水伝説

・スフィンクスが魚座を観始めた時に生まれたのがイエス・キリスト

時代が大きく変わった

・水瓶座を観始めた時に、変革期が訪れる

神々の審判が訪れる

それがあることを告げるための天体時計が古代の巨大建造物だったのではないか

・シュメール神話において、人類創造の計画に携わった神がエンキとニンキシジッタであった

そのニンキシジッタがエジプト神話に出てくるトト神であり、後々にピラミッドの建設に関わったという説もある

文献:

https://www.youtube.com/playlist?list=PLrd0S07H_Wx5kv6BXJDcoJNtidLflfzyc

～隠されし東北の神「アラハバキシリーズ」より～

- ・縄文の、月をシンボルとした蛇女神信仰
- ・出雲大社や諏訪大社の大きなしめ縄と、蛇の交尾シーンとの類似
- ・ツボケ族＝古代出雲族 アメリカ大陸からやってきた
東日本の縄文人を支配
- ・津軽に戻って、晋の一族と融合し、アラハバキ族になった
- ・アラハバキ＝祭祀王・かぐや姫を女神として信仰した
- ・サンカは、出雲神族の諜報機関だった
- ・アラハバキ信仰と、縄文時代からの蛇の女神信仰
アラハバキ神は、5000年前から祀られていた、太陽・月・大地と生命を司る龍神だと
伝えられている
- ・蛇の女神信仰は、龍の女神信仰であった
- ・2000年前の北海道の続縄文時代の壁画に、角と羽が生えた人型の生物が描かれており、人そのものは全く描かれていない
- ・古代出雲族と徐福一団は融合した
- ・古代日本は、東日本に日高見国があった

もし、倭国とは別に存在した小さな国が倭国を倒し、日本と名乗ったという旧唐書の後者の説が事実だとすれば、

出雲口伝で伝わる台湾から北上してきた日向族に、巨大な古代出雲族の国が倒されたという話になる

この記述が正しいとすれば、西暦640年代から700年くらいに間に政権が入れ替わり、歴史が隠されてしまったということになる

タイミング的には、蘇我氏が倒される大化の改新とドンピシャである

そして、倒された倭国は東の地へ追いやられた

東の地に新たな国をつくり、それが日高見国であった

後の蝦夷に繋がった

- ・古代出雲族は西暦640年頃まで大和を支配していた

日向族との戦いを選んだ古代出雲族は東の地で日高見国をつくり蝦夷と呼ばれるようになり、日向族に従う道を選んだ古代出雲族は西へ飛ばされ、島根が出雲と呼ばれるようになった

- ・かつて日本の中心にいたのは体中に入れ墨をしていた倭人であり、古代出雲族であった

- ・蘇我氏や聖徳太子によって編纂された、古事記や日本書紀より前に存在していた歴史書、天皇紀や国記は燃やされてしまった

大化の改新と共に政権が大きく入れ替わり、歴史も大きく作り替えられたということになる

- ・縄文人は、翡翠という宝石を特に重宝し、約7000年前から翡翠石の加工が始まっていた

メソアメリカのオルメカ文明は約3000年前、マヤ文明は2000年前

世界的に見てもとてつもなく古い

船を使って北海道から沖縄にいたる範囲まで交易を行っていた

- ・だが、6世紀頃から渡来人がたくさん来るようになり、渡来人から日本の宝である翡翠石を隠すために、翡翠石は作られなくなり、一部の人しか産地が知られなくなった

蘇我氏は日本の重大な秘密である翡翠の産地というトップシークレットを握っていた

- ・大化の改新の直後から翡翠石は全く使用されなくなった

- ・蘇我氏は、翡翠の秘密を守るために、大化の改新で敗れた際にその証拠を全て燃やした

- ・翡翠の秘密を知っている蝦夷は東北に逃げていった
- ・日向族に従った者は、島根の出雲や長野の諏訪にバラバラにされた
- ・秋田物部文書によると、ニギハヤヒ降臨の地は、秋田と山形の県境にある鳥海山であった

文献:日本の起源は「東北」にあった！？隠されし東北の神「アラハバキシリーズ」
https://www.youtube.com/playlist?list=PLrd0S07H_Wx40wtDF08t_FXYe8BFAygme

【仏教の教え (AmritaChannel より)】

～心の訓練～

・心をどう変革するか？というのが、あらゆる修行のテーマ

・ポイントは「エゴの放棄」「菩提心(慈悲)」

すべての自分の苦しみの原因はエゴ

すべての自分の喜び・幸福の原因は慈悲

文献:https://youtu.be/snp4e_k-0qM

・最悪の状況であればあるほど、最高の状況である

逆境こそ、自分を鍛えてくれ、自分の悟りを目醒めさせてくれる

・苦悩がない時期は、蓄えの時期

将来の苦悩に備え、教えを学んだり、徳を積んだり、戒律を守ったり

文献:<https://youtu.be/Tf-W93etUjQ>

・あらゆる問題はただ一つ、エゴのせい

・すべての衆生の大きな恩を思え

相手がいて初めて菩薩行ができる

究極的には、ある意味役割的であるのかもしれない

・トンレン(他者に幸福を与え、他者の苦しみを受け取る)

周りを愛する つまり、周りに対する「許し」の気持ちが必要

そのような気持ちが持てない場合、自分を許せていない場合が多い

第一段階で、(目の前にもう1人の自分を想定して)自分に対するトンレンを行う

呼吸に乗せてトンレンを行う

文献:<https://youtu.be/MgYTbzPtZYE>

- すべての原因はエゴであり、トンレンによる堅固さを得ると、空という本質の正体が明らかにされる
- 一切は神の愛であると共に、一切は幻である
- 修行者はある意味開き直りが大事
逆境を恐れるよりも開き直ることで、その逆境が自分を高めてくれるものになってしまう
- 自然に生じてくる様々な苦悩や災難、逆境、失敗は、修行を進める宝物、神からのプレゼント
- どんな状況でも、目の前の人々の幸福を考える そして自己のエゴの破壊、エゴを滅することを考える これによって逆境が逆境じゃなくなる
- 仏陀や神とのパイプを強める
瞑想で供養したり、日々全てを供養ととらえ、綺麗な景色があったら供養する、美味しいものを食べたらその美味しさを供養する、なんでも供物ととらえる、奉仕により肉体や時間の供養をする
自分を守ってくれる存在との絆を強める
我々は無知だから何度も間違った道に入る だが、この絆がしっかりしていると救われる
- 魔への対処法
マントラ(特にヴァジュラサットヴァ)
聖なるものへの帰依
慈悲

文献:<https://youtu.be/6KTr-50dS6M>

- 決意により、絶対に悟るぞという方向性を定め、それを持続させる

- ・自分以外のすべての魂の悟り、安らぎ、そのために自分の積んだ徳や修行のパワーを向けたいという回向の祈り

人々の幸福のために修行を行うという発願
仏陀や神に祈って懺悔
これらの実践により高い世界とのパイプをつくる

- ・死の間際に

菩薩になるぞ菩薩になるぞと決意
すべてをお布施
慈悲の瞑想を徹底的に行う
仏陀や神を修習して、そこに溶け込むように死んでいく
徹底的に神や至高者を想いながら加護を願う

文献:<https://youtu.be/JFsNsZB84wQ>

～最強の幸福の方程式～

- ・失う苦しみ、得られない苦しみ、嫌なものと触れる苦しみ

- ・心のしくみとしては、物は少ないが欲求も少ない人のほうが幸せ

- ・貧しいけど、非常に欲が少なく、人に対する慈悲が強く、そして日々あらゆることに満足して生きている人

文献:<https://youtu.be/oZtMjr260aE>

～十二縁起～

一方的な因果ではなく、相互関係

- ・無明:ありのままに真実を見る智慧が無い

・行:経験から来る心の習性、カルマの蓄積、情報

・識:それらの情報が固定的な識別を形成する
固定的な識別が、経験のインプットの方向性を決める

文献:https://youtu.be/F1WCeY_-l2g

・名色:偏った識別により、私という自我意識観念が強まる

・六処:自我意識が生まれると共に、他者という存在が生まれる

・触:自分と他人が接触する

・受:苦か楽か、苦でも楽でもない、いずれかの感覚が生じる

・愛:渴愛が生じる(苦しいから嫌だ、楽しくて良いな)

※お釈迦様は、苦しみを減する方法として、無明と渴愛を切ることを言っている
無明はすべての原因

渴愛を切るとは、まだカルマが十分に浄化されていない場合、この世で苦楽を味わう
のは仕方がないが、そこに良し悪しの感情を乗っけないということ

・取:囚われになる

・有:囚われにより、我々がこの世に結び付けられる

・生:生命の誕生

・老死:老いと死

新たな悪業を積まない

悪い習性をつくらない

徳を積んで、善業を積む

ものの見方を正しく変えていく

これにより、悪い十二縁起の流れから、良い十二縁起の流れに変えられる

渴愛と嫌悪を断ち切れば、少なくとも輪廻からは自由になれる

根本的に無明を断滅すれば、仏陀になれる

菩薩の道は、無明を四無量心や菩提心に変えて、あえてこの世で十二縁起で生きる道

文献:<https://youtu.be/6zn-ICzbrmY>

『夢から紐解く「十二縁起」の教え』はこちら
<https://youtu.be/SoMgsgsEg5I>

～カルマの輪を断ち切る方法～

・非常に苦手な人がいる この苦手な人は、私の嫌いな要素をたくさん持っている
私にはその要素を持っていないのにとっている
この、私にはその要素を持っていないのにとっているという思いは、自己認識の甘さもあるが、この人は嫌だから一緒ではない、一緒だと認めたくないという強い防御反応がある

そこで、自分をちゃんと認識した結果一緒であった、同じ世界に自分もいたのだということを受け入れる感じに認めた
その時、自分の中で大変な意識のチェンジが起こった

(同じ世界に自分もいるということが)カルマの輪である

カルマの輪の中にいる者同士が、「縁がある」という

・この自然と流れるカルマの流れに我々は巻き込まれ、過去に作ったカルマの流れに応じて、自然に煩惱が出て、自然に苦しみを味わい、自然にこの輪廻の中で流転している
このカルマの輪の自然な流れには乗ってはいけない

・憎しみには愛で返せ、非難には称賛で返せ、奪われたら与えろ、馬鹿にされたら尊敬しろ、悪い言葉には良い言葉で返せ、苦しみを与えられたら幸福を贈れ、あだを恩で返せ、最悪な場合でも悪しき反応はするな

表面的ではなく、心から愛を返さなきゃ意味がない

仏陀は、カルマの輪から外れた存在

カルマの輪の流れを変えられるのは、その流れの外部にいる存在であり、ダルマ、教えである

文献:<https://youtu.be/xH7msxsy1ZE>

～禁欲～

・ヨーガ修行を続け、同時にしっかりと禁欲をなし、生命エネルギーが強まった段階で本当の食欲と性欲が出る

・今普通に多くの人が感じている食欲や性欲というのは、偽りのものである

偽りとは、情報によるもの

そこで得られる喜びは実は非常に小さいものである

・禁欲(無駄なエネルギーを漏らさない)

性的な禁欲

食べすぎない

しゃべりすぎない

怒らない

その上で修行をすると、そのエネルギーを使って身体の作り変え(本来の状態に戻す)が行われ、昇華された形になる

非常に精妙な形のエネルギーで身体が満ち溢れるようになる

・体が本来の状態に戻った状態

体中が生命力に満ちる

体が飛ぶように軽くなる
心身が強いエクスタシーに溢れる
気力が充実する
常に肯定的
目に輝きがある
頭脳はフル回転で稼働するようになる
非常に身体が熱く感じるようになる
睡眠時間が極端に減る

この状態になると、情報によって出る欲望ではなく、我々の生命力から発される本来的な性欲や食欲が出る

・本来的な食欲が出てきた段階でも、できるだけあまり食べ過ぎない
本来的な性欲が出てきた段階でも、できるだけ禁欲する

・それにより、生命エネルギー、気の流れが身体の生命活動の中心に来るような人間に変わっていく
まずパタッと食欲が消える 性欲も消える 生きているだけでエクスタシーになる

・その状態でトンレンをやると、歓喜の塊みたいになる

・修行の二本柱
精神、心の修行 ⇒ 悟りとは、透明な心の奥にある
エネルギー的な修行(禁欲、行法)⇒ 身体的なエクスタシーと、心の浄化から来る心の平安が得られる

文献:<https://youtu.be/jVoLrExdsvU>

～各仏教とヨーガの方法論比較～

y軸:徳、心の浄化、成熟度 ⇒ 精神性の向上、功德の増大、カルマの浄化
x軸:意識の深まり ⇒ 真我のある奥の心の本性に入っていく

y軸の修行だけ ⇒ 真理は知らないけど、とても幸せにはなる けど、この世は無常だからずっと徳を積んで幸せでいられるわけではない

x軸の修行だけ ⇒ 低くて深い恐ろしい世界に入る 結局真我にはたどり着けない 怖い体験をしたり、魔境になっていく

ゆえに、y軸とx軸を同時に行うことが理想

原始仏教:y軸寄り(初めにy軸を徹底的に高めた後、x軸に入る) ⇒ 当時には適していたけど現代には適さない

大乘仏教:実践が伴わない哲学遊びに もしくはy軸寄りでx軸に弱い

密教:大乘仏教の欠点を補う形で、ヨーガを取り入れることでx軸も取り入れた ⇒ y軸とx軸を同時に高めていく形に

ゾクチェン、禪、マハームドラー:x軸重視(霊的世界、原因界も無視して一気に真我にたどり着こうとする) ⇒ 素質があればできる(けど、普通はできない)

チベット仏教:生起次第である程度y軸を高め、究竟次第でx軸を高め、ある程度準備ができた段階で、マハームドラーやゾクチェンにより真我にたどり着く

通常は、悟っても再び落ちるを繰り返し(自分が経験したことのない煩惱により)、落ちる度に経験したことないことを経験するまでひたすら繰り返す
菩薩行は、最短ルートで解脱する行

文献:<https://youtu.be/pqllLKkNaDo>

【この世の真実、真実の歴史について(考え方の学校 Yoshi Sun TV より)】

～[完全版]八咫鳥と666の正体 | 2000 年間世に出していけなかった物語 | やりすぎ
都市伝説～

<https://youtu.be/f1Ktqza3UyU>

・この世は鏡写し

天界:ミクロとマクロが重なる世界

ミクロ:龍神の世界

マクロ:キューブの世界

龍神の世界の鏡写し:人間界(そのまま鏡写し⇒心がある)

キューブの世界の鏡写し:地上(ねじれ鏡写し)

さらに高次元の世界の鏡写し:かつてのムー大陸(現在は地底)⇒仏になった

その間に、黄泉の世界が生まれた

・最初この世界には、光のみがあった

だが、何もかも光の存在である中で、「私はもっと光な存在なはずだ」と悩む女性がいた

そしてその悩みが、光の影となり、そこに生まれたのが闇であった
(闇は光の鏡写し)

そしてその女性の名が、瀬織津姫

自らの腹の中に、闇とされる水を生み、水の泡が星となった

そしてこれが宇宙

瀬織津姫は、水に流れを生んだ

そしてその流れが、流神 龍神

その龍神がヤハウエ

まず龍神は瀬織津姫のお腹の中にエデンを創った

(日本神話におけるオノゴロ島、高天原)

その創造主である龍神そのものが世界樹そのものであり、イザナギ(イザナ木)

その樹の根に創ったのが根の国であり、根から伸びる龍神の子蛇が人間の基となる生命体

木は根を張らないと倒れる

アマノナキの神話においては、金を掘らせたのではなく、この世を支える為に金の木の根を掘り進んだ

イザナ木:光の世界と、そこに生える世界樹 世界樹の根っこが余っている

イザナミ:闇の世界の足りないところに合わせる

⇒物質世界が生まれる

旧約聖書ではそれを、アダムとイヴで描いている

※同じ出来事を基に、別の物語が描かれた

光の世界:左 闇の世界:右 イザナギとイザナミが行った儀式

神産みのシーンは、地球を創るエピソード

初代太陽はどんどん膨張し、地球が高温になり、誰も住めなくなった

それがイザナミが女性器を火傷するシーン

そして今は二代目太陽

イザナギとイザナミの黄泉の国のシーンは、争いが絶えなかった人類の魂たちが黄泉の国に溜まっていき、黄泉の国の悪霊たちが天界に謀反を起こしたシーン

結果、黄泉から天界への道は封鎖された

地上と黄泉も封鎖されたため、黄泉は死後の世界になった

イザナギの禊のシーンは、大洪水を表している

大洪水を起こし、リセットした

そして清くなった黄泉と地上に新たに生んだのが三貴神である(世直しのために送り込まれた)

・日本の神社の構造は宇宙そのものを表す

鳥居は女性器を表す

参道は産道

お宮は子宮

神社に入って出るという行為は、もう一度生まれ変わるという意味である
そしてそのお腹の中とは、瀬織津姫のお腹の中である

物質世界、人間が生まれた場所が女性器
世界樹の木を上昇していく木の道が産道
その上にあるエデンが子宮

・瀬織津姫は、龍神の母であり、光の世界と闇の世界と物質世界全てを包み込む存在
そして光、闇、物質世界それぞれの役割を任せられた三位一体の子が天照大御神である

瀬織津姫と天照大御神は、妊婦のお腹の中にいる子のように、同一だけど同一じゃない存在

(そしてこの世の存在全てが)
大宇宙は瀬織津姫のお腹の中である
(もしくは天の川?)

天照大御神は、光と闇と物質世界の3柱の一体となった三位一体の存在である
その内、物質世界を照らしている太陽そのものは天照国照彦である

※イザナギまたはオーディンの左目から生まれた、天界からの使い、左目の使者が、
おそらくニギハヤヒかニニギである
ニギハヤヒ⇒天照国照彦

・龍神が地球に生命を生み、育てた
龍神の命で、巨人系宇宙存在は人類の面倒を見るために地上に降りて来た
人類にはまだ知恵はなく、考える力はなかった
そこで、瀬織津姫と、瀬織津姫と同じ起源を持つ巨人系宇宙存在が生命体に知恵を与え、人間を完成させた

巨人系宇宙存在とされる神が、アザゼル、プロメテウス、須佐之男命であり、同一神である

龍神の意に反して人間に知恵を与えたものの、龍神は人間の存在を認めた

知恵を得た人間は、その自由な発想力から、巨石文明を発展させた

しかし、知恵を得て、自由に考えれるようになった反面、人間同士で争いを始めるようになった

そしてその争いが日に日に大きくなり、地球が血に染まりそうになった時、宇宙では宇宙会議が行われ、その会議の末、地球に大洪水を起こし、地球を一度リセットした

・争いを好む人間が下界に根として伸び、争いで死んだ魂が悪神として天界に昇ってきた

これを古事記では八岐大蛇伝説で表されている

八岐大蛇伝説は、須佐之男命が宇宙に結果を張ることで悪神が天界を侵食しないようにしたエピソード

そして須佐之男命は、(知恵を与えた結果争いが起きたことへの責任を負う形で)自らが犠牲となり、この世の底で人間の罪・穢れを祓い続ける役目を負った

地上で溜まった罪や穢れを、瀬織津姫が天界に集める
そしてそれを別の神々を通して地上の底にある世界の底に送る
そこで罪や穢れを浄化し、清くなった状態を再び地上に返す
この大祓詞の内容は、古代エジプトの壁画にも描かれている

この世に底にいる神様が、プロメテウスであり、須佐之男命であり、ゲブであり、大天使ガブリエルである

もともとこの罪・穢れの浄化を瀬織津姫1柱で行っていた
だが、瀬織津姫だけでは浄化しきれなくなり、その役割を担った

・だが、まだ精神性が低い人間に再び知恵を与えてしまうと争いになると考えた龍神系宇宙存在が、人々から知恵を遠ざけるために母なる瀬織津姫と巨人系宇宙存在の信仰を禁止させた

つまり、天界でどう人間を管理するか of 政権交代があった
これを古事記では、天津神と国津神の国譲りで表されている

国津:巨人系(人間は得た知恵で自由に考えさせるべきだ)
天津:龍神系(協調できないから争いは終わらないのではないか)

そして、母なる宇宙の女神崇拝は、悪魔崇拝とされ弾圧された

だが、来る未来にこの真実を世に広める時が来る、という意志を持って生まれたのが、
D の意志

(その意志とは、光の世界と闇の世界が溶け合う大調和の世界を創造すること)

テンプル騎士団、フリーメイソン、八咫鳥

天界のキューブ、地上のキューブ

そしてそれらを包み込む宇宙全体の大宇宙のキューブ

この大宇宙のキューブが瀬織津姫

なぜ最近になって、秘密結社が秘密では無くなってきているのか？

その大きな理由は、巨人系宇宙存在と龍神系宇宙存在の和解にある

そして彼らは、人間の精神性次第で姿を表す予定である

～[完全版] この世が女神のシュミレーションの中という証明 | 関暁夫 | やりすぎ都市
伝説～

<https://youtu.be/s3HqM-eIKPI>

・視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚、これらは根本的に振動、周波数を感じ取っている
ということ

音なら、速い振動は高い音、遅い振動は低い音

色なら、高振動は明るい色、低振動は暗い色

この世に存在する全ての周波数、電磁波のうち、人間はわずかなものしか見えてい
ない

我々が見えていないだけで、夜空は星だらけ

自らの脳の周波数を上げることで、感じ取れない世界も感じ取れるようになる

神と呼ばれる存在は、我々より高周波数体なので我々には見えない

感じ取れるくらい脳の周波数を上げた者が見て感じ取れるようになる

※逆に、我々よりもより低周波数に合わせると幽霊が見えるようになる

幽霊:過去の意識体

・体そのものの周波数を上げると、体そのものが神の世界に入ることができる

体そのものをもし神の域まで上げると、物質世界の我々には見えない存在になる

現在の我々は、感じ取れる周波数を制限されている

⇒道徳性が無いまま宇宙に飛び出さないように

人間そのものが周波数体

というより、この世の全てが周波数体

・人間の脳とクラウドが一体化するようなもの

疑問は瞬時に答えがでてくる

脳内だけで他者と情報交換ができる(テレパシー)

人間が宇宙人になる時が来ている

人間と宇宙存在の違いは、まとっている周波数の違い

※UFO の目的等は、宇宙存在側が自らの周波数を下げることで我々に見せている

自らの周波数を操ることができれば、過去・現在・未来は関係なくなる

周波数が光の速さに近づけば未来に行ける

周波数が光の速さを超えれば過去に行ける

未来、現在、過去という空間を分けているのは、高周波と低周波

つまり、未来とは高周波の世界、過去とは低周波の世界

つまり、神や宇宙存在とは、未来人である

人間が生きる世界とは、現在という空間をただひたすら無限ループしているだけである

人類全体の周波数が上がり、少しずつ未来に空間が進んでいっている

それが次元上昇である

その次元上昇においていかれた魂が、過去の現在に溜まってしまう
この意識体が幽霊である

・地球に氷河期とされるものが来た時、地球に住めなくなるので、地上から肉体が消える

異常事態の時に、人として人を保てる者、保てない者
未来という空間に進んでいく者と、過去の現在に溜まっていく者

未来という高周波の世界へ個性を持った「人」として行く

ソフィア＝クババ＝瀬織津姫

・頭の中の情報とされる周波数でできたイメージを、相手に言葉という音の周波数に乗せて伝える
それが我々が行う会話

低周波を拒否せず、認めることで、低周波は浄化される

UFO は、イメージ・想像力と共鳴力で好きな向きで飛行している
ゆえに、感情が乱れていると操縦できない

光の速さを超えるには、空間を歪ませることで空間にそって光も遠回りするので、光の速さを超えることができるようになる

空間の周波数に共鳴することで、イメージ力で歪ませることができる

空間とは、周波数であり、紋章構造である
この現在という空間の中に、いくつもの別の周波数をまとった別世界が同時存在している
これがパラレルワールドである
それぞれ別の周波数と紋章構造を持っている
そのパラレルワールドごとに、それぞれ違った自分が存在する

未来の空間とは、現在と同じ場所にあり、現在よりも大きい空間として、現在という空間を包み込んでいる

その包み込んでいる現在という空間を、未来という空間から宇宙存在たちが眺めている

宇宙存在にとって、現在という空間は、いろいろなシナリオを持った同じゲームをそれぞれ見ているような感覚

・なぜパラレルワールドがあるのか？

二重スリッド実験では、電子の通り抜ける選択肢の数が2つ以上に増えると、その結果は波動のように広がり、選択肢の数より多くなる

観測器を置くと、結果は選択肢の数のみになる

人間の体の中や、ほかの物質内の電子の集合体は観察できない

それぞれの集合体が影響し合っているので、選択肢は実質無限

二重スリッド実験において、電子が1つの通り道を通る時、もう1つの通り道からもう1つの架空の電子が現れる

つまり、我々が1つの道を行けば、もう1つの道から架空の世界が現れることになる

その選択するたびに現れる架空の自分の周波数も、今の自分に影響を与えている

自分自身も、架空の自分の周波数に影響を与えている

これこそがパラレルワールドの正体である

つまり、地球も、地球が1つの道を行けば、通っていない道から架空の地球が現れる

選択肢を超えていくたびに、架空の地球が現れる

意識も同じで、自分の意識が1つの選択肢を認識して選んだ時、選んでいない選択肢からパラレルワールドの自分の意識が生まれる

つまり、パラレルワールドは選択肢を意識した時から始まる

高い周波数の意識は、高い周波数の選択肢が捉えられるようになる

そしてその意識の選択は、パラレルワールドの波動によって、バランスを取るように動いている

つまり、いろいろな選択肢からバランスの取れた道を取るように誘導する性質がある

選択肢が少ないほど、極端な選択肢を選ぶようになっていく
意識が捉える選択の道とは、未来への可能性である
意識体の周波数の高さにより、選択肢の多さは決まっていく

ある観察者が、全てのパラレルワールドを観察した時に、パラレルワールドは終わりを迎える

パラレルワールド全ての自分が、1つの意識体として統合される
バランスの取れた一直線上の中道の中心に統合される

そのある観察者とは、全てのパラレルワールドを内側のマイクロなところから観察できる存在であり、それは空間そのものである
その観察者が観察した時、空間内の全てのパラレルワールドは1つに統合される
その時、全てのあなたのパラレルワールドが統合された、あなたの完成体は生まれる
そしてこれが、最後の審判である

選択肢の幅と、周波数の質で、個々の中道はそれぞれ違う
地球のパラレルワールドには、あなたが存在するパラレルワールドと存在しないパラレルワールドがある
選択肢の幅の少ない者は、地球のパラレルワールドの中道から外れた極端なパラレルワールドを進む
つまり、地球の中道の完成体と離れていることになり、その地球の完成体に存在できなくなる
※つまり、未来の空間に進める者と、過去の現在に溜まっていく者？

だが、今まで極端な中道を歩んできていても、その先の未来への可能性を広げること
で、未来への中道が変わり、これまで無かった過去のパラレルワールドが出現するようになる
今まで実際に遠回りを通ってきた過去と、実際には通っていない過去が新たな中道によって繋がる

ハイヤーセルフとは、過去の自分が極端な道を進みそうになった時、未来の自分がより良い中道の道へ導こうとする力の、未来の自分
直感とは、未来の自分からのメッセージかもしれない

この世の仕組みは、過去・現在・未来が同じ領域に存在する

そして、脳の仕組みは、記憶・思考・想像が同じ領域に存在する
記憶という過去の領域、思考する現在の領域、想像する未来の領域
脳の働きと、この世のパラレルワールドの仕組みは、同じである
つまり、この世は誰かの頭の中
女神のシミュレーションの中

～ヤコブの夢と日本人。人類は知ってはいけなかった。～
<https://youtu.be/6Ke-ipYX9ro>

・Mon:唯一 Mnm:母

モー⇒牛の鳴き声

ヌト(瀬織津姫)は、古代エジプトでは牛としても描かれている

メソポタミアやシュメール等、古代の国々において牛を神聖な生き物とし、
ゾロアスター教においては、牛を宇宙原初の生き物とした

角が生えた巨人たちは後に、鬼と呼ばれた
デーモンのモンは、唯一の母を表す mon

・鬼、魂、仏には、ムが使われている

ムー:モーから来ている

知恵という自我が生まれたので、私という字にもムが入っている

知恵を生かし、母なる大宇宙を崇めた人々がムー大陸の人々

知恵で争ってばかりなので、キリスト教を広めて封印

仏教の仏という字にもムが入っている
仏とは、母なる大宇宙と繋がれた人を表している

古代の日本人は、宇宙は母から始まったと知っていた

・神社とは、宇宙の女神の子宮に戻って本当の光の世界の自分を写し、清め、現実世界で生まれ変わり復活しなさいという意味

日本の前方後円墳:死後の世界での復活
エジプトのアネク:生命の復活
と同じ願いである

マナの壺も、クババの手鏡も同一

・ヤコブ、モーセ、牛頭天王、須佐之男命＝鬼＝巨人

エジプトでは、角＋犬顔＋巨人で表されている
⇒真の巨人の姿だったのかもしれない

大神⇒狼 GOD DOG

古代のシュメール人にも角が生えている

・須弥山 スメル
33階層の天界に住む神
DEVA デーヴァ
身長450メートル 長生き 人間よりも遥かに幸せ
⇒巨人

DEVA デーヴァ ⇒ DEIWO 大王

ゼウス＝アモン＝デーヴァ

日本は、角の民族がいたとされたから THE PAN (パン神＝巨人)と呼ばれた

・ヤコブの夢にある、はしごの上にかかる天界に還っていく
そこが人類の帰る場所

[悟りの日本!!!] 空海と八咫鳥 | 日常に忍ばせる鳥達のサブリミナル

<https://youtu.be/KC560S3vWWw>

・大宇宙は瀬織津姫のお腹の中

密教も同じ考えを持っている

大悲胎藏曼荼羅

密教において、悟りの世界というのは、母親のお腹の中

それに気付くことが悟り

～世に広めてはいけない。[総集編]～

https://youtu.be/_qCpQBnXrdM

・龍神

古代ギリシャ:デミウルゴス 頭はライオン、体は蛇

ヨーロッパ:ライオン

日本の神社:獅子

タイ:一角の龍

インド:像

エジプト:3匹の魚

・蛇

宇宙は古代は海として表現されていた

女神から見たら、龍神は海蛇のように見えた

ウロボロス

龍の目で人類を観察している

三つ巴紋は、3柱の龍神

[ネタバレ] 無知ゆえの酷評『竜とそばかすの姫』

<https://youtu.be/tpHnd-gfno8>

・地球を守るバン・アレン帯は、独特の音を出しており(NASA の調査)、その音はクジラが海の中でコミュニケーションをとる時に出す歌のような声に似ている

・ハワイ、ニュージーランドの先住民、または古代エジプトの一部では、クジラは龍神の化身として見られていた可能性がある

・バフォメット 別名、バハムート アラブの神話ではデカイ魚または海蛇またはクジラのような見た目と信じられていた

・ Templar 騎士団: 世界がひっくり返るような知恵を持っていた それが解禁されては困る人たちがいた だから、Templar 騎士団は弾圧された

・男性器の象徴: 中指を立てる または剣 女性器の象徴: 目

[D の意思]ミーハーなんて初めから相手していない

<https://youtu.be/myBQKSq5wGM>

・瀬織津姫のいる世界: 光の世界

瀬織津姫のお腹の中に闇ができ、その闇が宇宙となった

その闇である宇宙の中で、男性神で表される光と女性神で表される闇が交わり、地上ができた

・地底に龍神ゲブがおり、瀬織津姫ことヌトは牛で表され、その上に木が伸び、天上界に繋がる

アラブの神話で表現される世界観 古いバージョンのユグドラシルの絵、エジプトのゲブとヌト

バフォメットは一体でこの世界観を表している

現在、ゲブとヌトは引き離されている

ゲブとヌトが再び再会することを願って

・人々がこの知恵を持ってしまうと、権力者は困る

そのため、バフォメットを悪魔として広めた

・もともと日本はおかしな価値観を植え付けられていなかった
だが現在、バフォメットを悪魔だと思う日本人は多い
なぜか？
誰かにとって都合の良い価値観？

蘇りし D のあなたへ。
<https://youtu.be/Mb2nvBB0Qqk>

・この世は鏡写し 宇宙で起きることは、あなたの身体の中でも起きる

人間の体の構造は、天上界を真似てつくられた
人間の背骨は33個の骨でできている
天上界までの33段の階段
鏡写し

33段の階段を昇っていく新時代の幕開けと共に、人間の背骨にも同じように下から上
へ何かが昇っていく

セフィロトの樹:11個のセフィロ(円)、22本の線・道
神が降りる様子は雷のよう

クンダリーニと本質的な意味は同じ

神社:女性器、子宮 参拝者:男性器、精子
理想の自分を生む
あなたの男性器は、お宮の子宮に届きますか？

～[総集編] 悪魔とされた古代の神々～
<https://youtu.be/dXOxmcWAPwU>

・女神ヌト(瀬織津姫)は、牛の姿としても表わされる

ヌトとゲブが引き離された つまり、天地が引き離された

- ・ヌトとゲブでバフォメットになる

バフォメットは悪魔ではなく、宇宙の仕組みを表しているものであった

- ・シヴァとゲブは同一神
ヌトとゲブ、カーリーとシヴァ

- ・パンと知恵の保護者キュベレーはパートナーであり、キュベレー＝クババ
パン＝原初の神パネースとされている

ゲブ＝シヴァ＝パン 男性器のシンボルという共通点

パンとシヴァにある地震伝説

パネースとシヴァに巻き付く蛇

- ・JAPAN の本当の意味

古い中国語とヨーロッパの言語は、インド・ヨーロッパ祖語から派生しており、神話も影響を受けている

パング(盤古)＝パン＝パネース

JAPAN の真の意味は、インド・ヨーロッパ祖語まで辿ると、
「寝そべる守護者(羊飼い)」になる

寝そべる羊飼い:ヤコブ
ヤコブ＝パン

ゲブは、寝そべる地球神⇒寝そべる守護者

つまり、ゲブ＝シヴァ＝パン＝パング(盤古)＝ヤコブ⇒JAPAN

日本に、牛頭天王として伝わった

ゲブ＝シヴァ＝パン＝パング(盤古)＝牛頭天王＝須佐之男命

古代のエラム王国の首都スサ

スサでは、イシュシナクが信仰されていた
イシュシナクは、スサの君主という意味、
スサの王

イシュシナクは、死後の世界の管理者であり、審判をくだす神であった

ゲブ＝シヴァ＝パン＝パング(盤古)＝牛頭天王＝須佐之男命
地球原初の神 寝そべる羊飼い 守護者

・古事記のイザナギが禊をして三貴神が生まれた神話と、盤古の神話との共通性

盤古のエピソードとイザナギのオノゴロ島のエピソードは似ている
けど、須佐之男命の役割がイザナギに変わっている

須佐之男命の悪役物語は、シヴァと妻との神話と織姫彦星の神話を引用した二次制作

機織りに投げ込まれた馬は、本当は牛であり、それは彦星であり、須佐之男命自身である

機織りは天照大御神

カーリーとシヴァの神話

・パンは後に、ゼウスの孫というサブキャラにされている

それはなぜか？

新しい力を持った国が、小さな古い国を統治する時、争いを減らすために古い国の神を取り込んだ

これと同じことが日本でも起きた

オノゴロ島のイザナギのエピソードにおいて、古事記は、スサノオとイザナギをすり替えた

(元はスサノオであった)

スサノオが暴れるエピソードは、本当はむしろシヴァがカーリーを鎮めたように、鎮める役割であった

これは、スサノオの地位を下げる目的があった

天照大御神を信仰していた大和民族、須佐之男命を信仰していた出雲族
出雲族の土地を大和民族が統治する際、大和民族の神のほうが偉いという大義名分が必要であった

本来は、どちらが偉いかというものはない
天と地2つで宇宙

本来同じイシュシナクを信仰していた大和民族が日本にたどり着いた時にはすでに、
出雲族の人々がイシュシナクと同じ神を信仰していた
同じ神の子孫なら同等な存在
ゆえに大和民族は古代神話を引用し、スサノオより偉い姉の子孫という設定をつくり、
統治した

・ゲブとインシュシナクは共に、最後の審判をする神
インドではシヴァが死後の最高責任者
※シヴァとヤマはもともとは同一だった

古事記では、死後の世界を担当する神の描写がほぼない

神道と仏教の宗教戦争を止めるためのバランスが必要だった

結婚式は神道が担当し、お葬式は仏教が担当

役割を定めた
そして、死後の世界の神の話を日本神話に書かなかった
ゆえに月読命の黄泉の神話が全く無い

・天武天皇が書いた古事記の神話は、大陸で起きた物語の可能性があり、日本神話
の神々は大陸の古代の神々が起源である可能性がある

・真の神道とは？

ヒンドゥー教と神道は形態がよく似ている

神道では、日本人は太陽神アマテラスの子孫とされている
ヒンドゥー教でも、人間は太陽の子孫とされている

神道もヒンドゥー教も、開祖がいない民族間の宗教であり、多神教であり、三柱の最高神がおり、穢れは水で落とすという伝統がある

ヒンドゥー教は、もともとはペルシャの信仰であった
古代中国は他民族だらけであり、他民族侵略の歴史であった
ゆえに中東からきた民族も多くいた

インドのヤマ神＝閻魔大王に

ヤマ神：地下、地球神、青・黒の肌、最後の審判、破壊と再生を司る、牛との関わり
シヴァ神と同一であり、ゲブと同一

ヤマとヤミ ゲブとヌト

地球が宇宙へ繋がる物語
その中で我々は生きている

ヤマはもともと、古い起源の神がおり、ゾロアスター教のイマ
人類を誕生させ、死や病気を無くし、地球の黄金期をつくった
イマの伝説に、ノアの箱舟の氷河期バージョンがある(地下シェルターで乗り切った)
この伝説がいつしか、地下世界で最後の審判をする神となった

ヤマとヤミは、陰陽の起源

これがアマテラスとスサノオの誓約のシーンに繋がる

ヤマ(地球神)とヤミ(宇宙神) + 太陽神スーリア
スサノオとアマテラス

アマテラスはもともとは宇宙神であった

だが、当時持統天皇が即位してた大人の事情で女性を太陽神として最高神にする必要があった

新たな宇宙神として、宇宙を照らす存在、月 月読命

もともとツクヨミはこの世の夜を照らす存在
死後の世界の担当はスサノオであった

閻魔大王＝スサノオ

神道のスサノオから仏教の閻魔大王に役割を譲ったが、もともとは同一神

・歴史も神話も勝者がつくる

敗者の神は、悪魔として弾圧されるか、取り込まれるか

～世界全民族集合の日本史～

[総集編]日本人はメソポタミアとエラム王国の起源説

<https://youtu.be/Z64M1w5O8XI>

[まとめ] 世界全民族集合の日本史『古代イスラエル編』

<https://youtu.be/dihPmgziJKo>

[まとめ]世界全民族集合の日本史 | ユダヤ/ギリシャ編から日本史編へ

<https://youtu.be/DXLYIKYsByA>

[まとめ]天孫族が変えた歴史/天皇家の起源/漢字の起源など

<https://youtu.be/Zv6br9QsLb4>

[まとめ] 祇園祭は古代エジプト起源 | 天孫族系アムル人によるエジプト王家としての繁栄

<https://youtu.be/cF45SMLlGoE>

上記の動画の内容まとめ

古代の縄文人:地球最古の文明

氷河期・海面上昇→縄文人は、標高の高いほかの地域に移住した(日本列島に残った縄文人もいた)→その一派は、トルコのギョベクリ・テペに移住した→海面が下がった後、メソポタミアでシュメール人となった

エラム人:シュメール人と兄弟

バビロニア王国から追い出されたシュメール人、エラム人、アムル人⇒中国の商、殷経由で第1陣として日本に渡って倭国となる

近畿地方を中心に東西に拡大

日本列島に残ってた縄文人は、北海道付近と沖縄付近に追いやられた

後に日本に渡った民族と同一の祖であるシリアのアムル人が、エジプトに渡って第18王朝となり(父系:エジプト王家、母系:アムル人)、一神教政策を起こしたが失敗し、エジプトを脱出した後に同祖のアムル人やシュメール人、エラム人と合流し、古代イスラエル人となった

ゆえに、日本の文化とユダヤの文化は共通点が多い(が、直接古代イスラエル人が日本に渡ったわけではなく、祖が共通であったということであり、また多神教と一神教という違いがあるのも、以上の背景のためである)

ダビデ王のモデル:エジプト第18王朝のトモーセ3世

メシアの語源:古代エジプトのファラオの称号メセ

契約の箱アーク:古代エジプトの神の社バーク

ノアの方舟:社に石棺(箱)がある復活の船バーク

⇒ノアの方舟物語は、シュメール神話の大洪水伝説+ゾロアスター教の復活物語+古代エジプトのバークを合わせたもの

ピラミッドで表した埋葬の伝統の本質=ノアの方舟の本質

ピラミッドが後にバークになっていった

アークの語源は、復活のシンボルのアンク

シリアのアムル人系ヤマアド人、アムル人系ヤミ人が、古代インドに渡り、初期のヒンドゥー教を築いた

一方、アムル人は古代ギリシャにも渡った

古代ギリシャ人、古代イスラエル人、そしてヒンドゥー教も遠い親戚である

ゆえに古代ギリシャやヒンドゥー教では多神教であるものの、神のルーツに共通点がある

そして、古代ギリシャを経由したアムル人と、古代インドを経由したアムル人が新羅で合流し、日本に渡り、大和民族となった

その過程で、中国の神にも影響を与えている(盤古、徐民族)

日本神話は、中東での出来事の史実が元となっている

(ヤマアド人目線で描かれているため、ヤマアド人の都合によって一部史実から改変している)

日本の神を八百万神と呼ぶ理由は、日本神話の神のほとんどがメソポタミア地方(八つの陸)が起源の神々だからである

また、パルティア帝国のペルシャ人(エラム人系)が百済を経由し日本に渡り、飛鳥時代を築いている

つまり、日本建国前の日本列島は、様々な渡来人が多民族で共存していた状態であった

だが、後に民族間の権力争いになっていった

この民族間の権力争いに終止符を打ち、多民族共同体を一つにまとめたのが、大和民族であった

古代イスラエルの契約の箱、ノアの方舟

そして古代エジプトのバークを神輿のように担ぐ Opet 祭り

そして日本の祇園祭

これらの本質は同じ

祇園祭の山鉾＝ノアの方舟＝ピラミッド

アモン神＝ヤハウェ＝エル＝ベルサディ＝ベル＝パン＝パネース＝盤古＝牛頭天王
＝ゼウス＝古代インドの神々デーヴァ

エジプト第18王朝の人々が世界中に散っていった

イスラエルの過越＝蘇民将来 過越＝中国の春節＝日本の年越しの過ごし方

起源が同じ

過越よりも春節のほうが起源が古く、より古代エジプトの伝統を継承している

古代エジプトの(ナイル川の氾濫による)疫病の象徴アペップとアペップを燃やす儀式

旧約聖書のモーセとヤハウェの燃える木、杖が蛇になる、手が疫病になるエピソード

青銅の蛇のエピソードにも燃える・蛇・疫病というキーワードがある

つまり、ヤハウェ＝蛇/龍

そして、周王朝のニアン

アペップ＝ニアン＝ヤハウェ＝ゼウス＝アモン＝エル＝ベルサディ＝ベル＝パン＝パネース＝盤古＝牛頭天王＝古代インドの神々デーヴァ

なぜ、ネガティブなアペップの伝説をポジティブなヤハウエの物語としたのか？

縄文人は優れていた⇒日本人は縄文人の直系なんだから凄い

という思想は間違い(選民思想、民族優越思想に繋がる)

縄文人というアイデンティティと、日本人というアイデンティティは別物

日本人は多民族共存国家として成立したため、縄文の血は入っている、縄文人がそのまま日本人になったわけではない

太陽の下皆平等、人として皆同じという多民族共存国家としてスタートした日本が、気付いたら日本人というアイデンティティを確立できているという奇跡

だから、選民思想や民族優越思想、人種差別主義者にそれは良くないと言えるのが、日本人である

そして、いろいろな宗教や神話は元は同じ

その元をいろいろなフィルターを通さずフラットに見ること

そのいろいろな宗教、神話の本質を理解して初めて、縄文のことを理解できる

【[新記事]スピリチュアルのワークと世界樹との関係についての考察(+クンダリーニ・ヨーガ)】

世界中のシャーマニズムの文化に見られる「世界樹」または「生命樹」
世界樹は、天上世界と地上世界、地下世界を繋いでいる存在である。

その世界樹が、1人1人の人間の中にあると捉えた場合、
「樹の幹」は天上世界と地上世界、地下世界を繋ぐ中心軸であり、その位置こそスピリチュアルで言う『100の位置』であると捉えることができる。

そして、我々は天上世界にいるハイヤーセルフの自分が地上世界に降りてくることで、人間として存在している。

そして様々な眠りの体験をすることで、その眠りの周波数が地下世界に蓄積されていく。

その地下世界に蓄積された周波数を手放すことが、スピリチュアルで言われる『手放す』ということである。

スピリチュアルにおいて『グラウンディング』が大事とよく言われる。

このグラウンディングというのは、世界樹に当てはめると、「樹の根っこ」であると捉えられる。

そして、感性を開いていくことで、内なる宇宙である天上世界の存在たちやハイヤーセルフとチャネリングを通して繋がっていくことができ、

本当の私という存在は、地上世界にいるこの肉体の存在ではなく、世界樹そのもの、つまり宇宙そのものであると、自覚する。

そして、そこが「宇宙そのものの自分で、地球を生きる」スタートラインである。

このように解釈することができる。

また、これを仏教や密教に当てはめて考えてみると、

「100の位置」とは、お釈迦様の場合は「菩提樹の下」が100の位置に立った場所であったのだらうと捉えることができる。

そして、仏教の修行において、眠りの周波数を手放す上で、ヴィパッサナー瞑想が行われる。

また、グラウンディングをする上でも、ヴィパッサナー瞑想が行われる。
日常的に、六波羅蜜や四無量心、徳を積むといったものを取り入れることで周波数を手放していく。

サマタ瞑想は、私という存在は宇宙そのものであるという体験ができる瞑想である。
この場合は、サマディーの状態の時のみ宇宙そのものになれると言える。
感性を開いていく上で有効であると思われる。

そして、究極の瞑想法、クンダリニー・ヨーガは、まさに「宇宙そのものの自分で、地球を生きる」ための瞑想であり、それを世界樹に当てはめて解釈するならば、
周波数を手放していき、徳を積んでいくことで(徳を積むとは、自分の中の周波数を調和に書き換えることであると言える)、クンダリニー・ヨーガを行う準備をしていき、
クンダリニーの上昇を行うことで、内なるエネルギーが地上世界から天上世界にまで上昇する。

そして、甘露が体中(つまり世界樹全体)に飽和状態になることで、サマディーの状態(つまり宇宙そのものの自分)になる。

そこから臨死体験の疑似体験が起き、その後、生まれ変わる疑似体験が起きる。

つまり、一度天上世界にいる元のハイヤーセルフに戻った後、再び地上世界に生まれ変わる疑似体験が起きるのだ。

その生まれ変わった自分は、まさに「宇宙そのものの自分」であり、宇宙そのものの自分で地球を生きていくことができるようになるというわけである。

また、化身の受胎により、様々な世界を化身を通して体験することができるようになるとも言われ、

つまり、これは、よくスピリチュアルにおいて「宇宙会議」というものが宇宙にはあると言われ、光体の姿で宇宙会議に参加するという話があるが、この光体こそまさに、ここで言う化身ではないかと思われる。

このように、クンダリニー・ヨーガは、「宇宙そのものの自分で、地球を生きる」究極の瞑想であると言える。

だが、このクンダリニー・ヨーガは、とても難易度が高い瞑想法であると言え、
目醒めることが非常に難しい眠りの時代においての、目醒める方法がこのクンダリニー・ヨーガという方法であったのかもしれない。

現在は、とても目醒めやすい地球になってきており、とてもやりやすい方法として、多数のスピリチュアルワークが考案されている。

参考文献

<https://www.youtube.com/channel/UCiTA-jjPRc0yB5MaUmPm8Fw>

<https://morfos.blog.ss-blog.jp/>

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLwd8H8l408XGmd1U4aTjxjbo8CHN5wJz5>

また、上記の3つの文献のほかに、こちらの文献も合わせて見ることによって、スピリチュアルとシャーマニズムと仏教、これらは本質的に同じことを語っているということとを悟る上での参考になるかと思われます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLwd8H8l408XEGgUwuboJ-e1TBfuvopyyv>

～追記～

ゾロアスター教において、人間が生まれる前、「魂」と「守護霊(フラワシ)」は1つであると考え。

生まれる時に、魂だけ地球に降り立ち、守護霊は守護者としてその人を守り続ける。

そして、この世での命が終わった後、再び魂と守護霊は1つになる。

その際、人として生きている間に得た全ての経験を守護霊に伝える。

この経験に基づいた知識は、絶え間ない善と悪の抗争において役立つとされている。

文献:<https://world-note.com/zoroastrianism/>

このゾロアスター教における、守護霊(フラワシ)は、スピリチュアルで言うハイヤーセルフにまさに該当する。

人として生きている間に得た全ての経験を守護霊に伝えるという部分においても、スピリチュアルで語られていることとまさに一致する。

～追記～

太古の原始信仰である、アニミズム、シャーマニズムは、地球上で最も古く、広範に受け入れられてきた信仰である。

現在のチャネラーと呼ばれる人たちは、この当時のシャーマンと同類である。

※世界中のアニミズム、シャーマニズムの世界観は普遍性が見られる。

そこから、古代文明、古代宗教、自然神的多神教が生まれ、言語による様々な表現の多様性が生まれた。

古代宗教の組織化に伴い、シャーマンの排除～神官が確立された。

また、霊媒行為から儀式という宗教行為へ、神権政治、支配権力への利用へと繋がっていった。

世界宗教へと勢力を拡大していった「表の宗教」とは対象に、シャーマニズムは「裏の宗教(密教)(神秘主義)」として生き残った。

近代に入り、スピリチュアリズムの登場と共に、神秘主義は表舞台に復活し、現在に至る。

文献:<http://sp-phenomena.in.coocan.jp/part2/p2chapter1/index.htm>

～追記～

シャーマンの世界である、天上世界、地下世界、これらを「心の世界」と一括りにしてサンプルに捉えてみると、

●源

●心の世界

存在:アイデア、宇宙人、マスター、神様、霊、ハイヤーセルフ

イメージの世界:シャーマンのトリップ、瞑想、ワーク、チャネリング、リーディング、霊視

脳とアクセス:記憶、パラレル

●現実世界

このように一括りに捉えることができ、理解しやすくなる。

～追記～

狩猟採集の文明未発達時代:宇宙の流れと一体した生活、スピリチュアル的感性が発達

農耕文化～文明が発達～都市国家誕生:宇宙の流れに逆らう生活、スピリチュアル的感性が閉じた

⇒ そんな俗世間から離れることを選択した集団が現れ始めた:ユダヤ教エッセネ派、バラモン教ヨーガ学派や沙門…

それにより、ユダヤ教エッセネ派からイエス・キリストが、バラモン教～沙門の流れの中でお釈迦様が誕生した

彼らの共通点は悪魔の誘惑、つまり俗世間の誘惑に打ち勝った点にある

⇒ 誘惑に打ち勝った、つまりスピリチュアル的に言うところの「周波数を手放した」ことで、スピリチュアル的に言うところの「100の位置」に戻った

仏教をはじめとする修業的手法による周波数の手放し方、現代スピリチュアルの手法による周波数の手放し方、
どちらも手法の違いだけで、目的は同じであるといえる。

ユダヤ教エッセネ派

- ・どこのグループよりも禁欲的な生活を送り、自らの霊性を高める
- ・俗世間から離れ、共同生活 財産を共有して生活 所有物を共同管理 小規模共産社会
- ・12歳になるまで宗団の規定に従って生活 21歳まで見習いという身分 30歳までに立派な宗団員になることを期待される

⇒ 厳格な規律を守り、所有欲や本能的な欲望を制限して禁欲生活を続けることで、特殊な能力を手に入れようとしていた(預言者集団と言われていた)

イエス・キリストのエピソード

- ・12年間の第一の空白期間、12歳の頃の聡明な天才エピソード
- ⇒ エッセネ派の「12歳になるまで宗団の規定に従って生活」と一致
- ・12歳～30歳までの第二の空白期間、30歳で洗礼を受けた
- ⇒ エッセネ派の「30歳までに立派な宗団員になることを期待される」と一致

悪魔の誘惑に打ち勝ち、洗礼を受けることができた

文献:<https://youtu.be/azzi2ydGQY4>

仏教における仏伝にも、お釈迦様の「悪魔の誘惑に打ち勝つ」エピソードがあり、イエス・キリストとお釈迦様のエピソードに多数の共通点を確認できる

～追記～

仏教で説かれる修業の全ては「心の訓練」
これらの修業は客観的真理ではなく「方法論」
そして、全ては
『エゴの放棄』: 全ての苦しみの原因の放棄
『菩提心(慈悲)』: 全ての幸福の原因
に繋がる

文献:https://youtu.be/snp4e_k-0qM

そしてそれは、イエス・キリスト本来の教えにおいても、スピリチュアルにおいても同じことが言えるのかもしれない。
あらゆる教えの行きつく先は、「エゴの放棄」と「慈悲」に繋がる。
そして、世界中の神話や終末思想で語られていることの、行きつく先は「エゴ」と「慈悲」の戦いであり、
エゴによって形作られてきた人間の今までの歴史から、現代はエゴの放棄と慈悲の心によるアセンションのタイミングに差し掛かっていると思われる。

～追記～

●地球、プレアデス、シリウス、等々…

●地球そのものの地母神と、その分け御霊 ⇒ 地球上に存在するあらゆる動物や植物: 地母神と繋がっており、地球が彼らのふるさと

●人間 ⇒ プレアデスやシリウスからやってきた宇宙人が、地球から地球の素材 (DNA) をレンタルすることで地球に降り立った存在:地球ではなく宇宙が本来のふるさと

⇒ 宇宙が本来のふるさとであるということを忘れる:眠る

眠りの時代:地球がふるさとの地球の先住民の土地にやってきて、宇宙が本来のふるさとであることを忘れ、地球を自分たちの場所のようにふるまい過ごしてきた (かつて我々がやってくる前は、地母神の分け御霊である先住民間での調和の取れた地球であった)

目醒めの時代:宇宙が本来のふるさとであることを思い出し、地球という土地は我々の所有物ではないということを思い出し、地球をかつての調和の取れた地球に戻し、我々も宇宙との調和の取れた生活を実現させていく
結果、地球そのものと宇宙そのものの調和が実現していく

参考:<https://youtu.be/zPDWrX-rgyo>

～追記～

・セフィロトの樹とソルフエジオ周波数は、チャクラに対応している。

・※私個人の解釈

お釈迦様の仏教の教えに「中道」っていうのがある。

>2つのものの対立を離れていること。断・常の二見、あるいは有・無の二辺を離れた不偏にして中正なる道のこと。

この中道的視点により、右目でも左目でもない第三の目が開かれるのではないかな。
それがつまり、プロビデンスの目。

・そして、子宮から子供が創造されるように、プロビデンスの目から創造される。

・日本の奥の院は山頂にあり、古代蛇(龍神)信仰の名残
インドの古代神話にはナーガという神に会うには山頂に行く必要がある

ユダヤ教ではモーセは、蛇との繋がりが有り(頭の角は実は龍の頭)、モーセが神と会った場所はシナイ山の山頂

古代の神話は龍蛇が土台

・二匹の蛇(陰陽)が第三の目で重なる時、頭頂部がインスピレーションの受け皿となる
古代では蛇は復活のシンボル

クンダリーニ覚醒は、二匹の蛇が人のスカルで重なることで起こる

そして、海賊旗であるジョリー・ロジャーのシンボル ⇒ 2本の骨は蛇

人がスピリチュアルな存在として復活(覚醒)する

つまり、頭頂部の第七チャクラは受け皿であるカップ

キリストの十字架のシーンは、2本の木を重ねて出来た十字架があり、キリストの血が聖杯に注がれている キリストが十字架に架けられた丘はゴルゴダの丘はスカルの丘という意味 聖杯に注がれる血は知恵の血 そしてキリストは復活のシンボル

・人類が誕生する前、生命は神とは遠い存在であり、知恵の無い存在であった。

神の間では、知恵を与える派の神と、与えない派の神がいた。

そして知恵を与える派の神による行動により、人類は誕生した。

古代、人類が平和だった頃、神と人は近い存在であり、真理の知恵は人類にとって身近なものであった。

それは、人類への真理の知恵を与える派の神によるものであった。

だが、やがて人類は争いが絶えなくなり、人類に知恵を与えたのは間違いであったと悟った与えない派の神は、大洪水により一度リセットした後、天と地を分断させることにより人類の真理の見える第三の目を閉ざした。

与える派の神は、自らの責任を取る形で、地球の罪や穢れを浄化する役割を担った。

そして人類は長らく、真理の目を閉ざした眠りの時代を過ごした。

そして現在、知恵を与える派の神と、与えない派の神は共に和解し、人類の精神性の成長を見守ると共に、精神性が向上した際には人類の前に姿を表すつもりでいる。

人類の精神性の成長と共に、真理は解禁されていく。

※精神性の向上が真理解禁の鍵となるのであろう。ゆえに、眠りの時代においては釈迦様やイエス・キリストといった一部の精神性を向上させた人のみが真理の悟りを開くことができた。

古代は瞑想のみで真理の扉を開くことができたが(ヨーガ・スートラにあるように)、時代と共に人類の眠りは深くなっていき、瞑想だけでは真理の扉を開くことはできなくなっていた。

ゆえに、クンダリーニ・ヨーガといった手法が開発されていった。

(※の情報は AmritaChannel より)

・瀬織津姫:今我々がいる宇宙そのもの、宇宙は瀬織津姫のお腹の中
光の存在である瀬織津姫のお腹の中に、光の鏡写しである闇が生まれ、その闇が宇宙となり、宇宙にできた泡が星となり、流れが流神つまり龍神となった。
その龍神が地球を創った。
世界樹は、龍神そのものであり、イザナギつまりイザナ木である。
イザナミは、陰陽に分かれた世界樹の陰を表す。
そして陰陽つまり光と闇が重なり合い、物質世界が生まれた。
そして、神産みの神話において地球を創造した。
光の天界の存在は、天津神系の龍神族、国津神系の巨人族、共に瀬織津姫の子である。
国津神系は、人類に知恵を与えた。だが、争いが絶えなくなった。
争いにより悪霊は増え、天界の上層部にまで侵食し始めた。
天界と黄泉との道を封鎖したのが、イザナギとイザナミの黄泉でのエピソード
そして、悪霊の侵食を食い止め、結界を張ったのが須佐之男命であり、それが八岐大蛇伝説である。
そして、知恵を与えた責任もあり、須佐之男命は人類の罪や穢れの浄化の役を担った。
天津神系龍神族は、大洪水を起こし、地球をリセットした。それが、イザナギの禊のシーンである。
そして、天と地は分断され、再び世界の創造し直しとして三貴神が誕生した。
先ほどの上記の内容を日本神話に当てはめるとこのようになる。
世界のあらゆる神話は同じ出来事をそれぞれ違う表現で表しており、ゆえに登場する神も実はそれぞれ各神話ごとに同一神とされる神が登場する。

・※私個人の解釈

宇宙存在が知恵を与えた → 争いが起きた → 大洪水によりリセットされた → 知恵は封印された → 時代が進むと共に、知恵は少しずつ解禁されていく → 近代化が起きた → 争い？ or 調和？ → 争い:やり直し、調和:ループから解脱～宇宙種族の仲間入り

破壊と再生

世界が崩壊していくような大きな変革がある時は、自分の中を変革させていくチャンス外でどんなことが起きても、自分はどう生きたいか？

詳しくはこちらのチャンネルを参照:

<https://www.youtube.com/@yoshisuntv7502>

～追記～

考え方の学校 Yoshi Sun TV より

縄文人は優れていた⇒日本人は縄文人の直系なんだから凄い

という思想は間違い(選民思想、民族優越思想に繋がる)

縄文人というアイデンティティと、日本人というアイデンティティは別物

日本人は多民族共存国家として成立したため、縄文の血は入っている、縄文人がそのまま日本人になったわけではない

太陽の下皆平等、人として皆同じという多民族共存国家としてスタートした日本が、気付いたら日本人というアイデンティティを確立できているという奇跡

だから、選民思想や民族優越思想、人種差別主義者にそれは良くないと言えるのが、日本人である

そして、いろいろな宗教や神話は元は同じ

その元をいろいろなフィルターを通さずフラットに見ること

そのいろいろな宗教、神話の本質を理解して初めて、縄文のことを理解できる

文献:<https://youtu.be/BZjAq4W82dY>

～追記～

【宇宙くんの手紙】中村咲太 より

「個」を極めることで、魂の描く最高のストーリーへ★

破壊と再生

一見世界が崩壊しているように見えるような変革が今後も加速していく

世界は崩壊していくように見えても、個は逆に確立していけるチャンス

外でどんなことが起きても、自分はどう生きたいか？にフォーカス
外が変わっていくのは余韻でしかなく、自分が変わっていくというのが本質

文献:<https://youtu.be/SLPewlXCy0s>

【神様に聞いた話】目醒めのブレーキを外す★風の時代の“つながり”

人間関係とは、自分との対話である
人間関係を通して、自分の中から出てきた感情との向き合い
その自分の内側から出てきたものに気付いて、その上で自分はどうしたい？か自分の
あり方を選んでいく

文献:<https://youtu.be/CPwYSCYnWdA>

～追記～

※私個人の解釈

世界中の神話にある大洪水伝説とかの捉え方は、見る角度によってまるで違った捉え方になる。

外向きに捉えると、人間選別みたいな言葉になるだろう

だが、それが本質なわけではなく、

その本質は、自分自身でその現実を引き起こしていて、それは自分自身を変えていくための起こった現実であり、

そう捉えると、その人自身のあり方の選択が大事になってくると言える。

～追記～

おそらく、救世主・メシアとは、自分自身の真我のことであると思われる。

真実の歴史を開示することの真意とはおそらく、自分自身の中の封印されていた女神性や調和を思い出すことであると思われる。

～追記～

世界中の多くの神話では地母神は女神として捉えられていることが多い。

だが、古代エジプトにおいては大地の神ゲブは男神として捉えられている。

これについての解釈は、このように捉えることができる。

まず原初の地球は、女神ヌトの分け御霊として誕生した。

そこに、ゲブという宇宙種族がやってきて、知恵を与えることで人間を完成させた。

知恵が与えられる前の地球は、女神ヌトの大いなる流れに一体となっていた。

だが、知恵が与えられたことにより、女神ヌトの大いなる流れから外れる形となっていた。

その結果、ヌトとゲブは離れていくことになった。

つまり、ヌトは宇宙そのものでもあると同時に、本来の地球そのものであると捉えることができる。

そして、ゲブとは大地にいる人間を生み出した存在、大地(にいる全ての人間の生み)の神であると捉えることができる。

そして、そこから派生して地域によって様々な神の名前になっていった神々は、ヌトやゲブと同一神であると捉えることができる。

それと同時に、もしかしたら「未来の私たち」ではないかと捉えることもできる。

アセンデッドマスターと呼ばれる存在は、確かに過去には実在しない人物である場合もある。

だが、未来に存在する可能性は否定できない。

未来の私たちの姿がまさに、アセンデッドマスターと呼ばれる存在である。

高次元の存在は、未来人であると捉えることができる。

【精神性の向上と霊的感性の向上による真理への目醒め】

～各仏教とヨーガの方法論比較 (AmritaChannel より)～

y軸: 徳、心の浄化、成熟度 ⇒ 精神性の向上、功德の増大、カルマの浄化

x軸: 意識の深まり ⇒ 真我のある奥の心の本性に入っていく

y軸の修行だけ ⇒ 真理は知らないけど、とても幸せにはなる けど、この世は無常だからずっと徳を積んで幸せでいられるわけではない

x軸の修行だけ ⇒ 低くて深い恐ろしい世界に入る 結局真我にはたどり着けない
怖い体験をしたり、魔境になっていく

ゆえに、y軸とx軸を同時に行うことが理想

原始仏教: y軸寄り (初めにy軸を徹底的に高めた後、x軸に入る) ⇒ 当時には適していたけど現代には適さない

大乘仏教: 実践が伴わない哲学遊びに もしくはy軸寄りでx軸に弱い

密教: 大乘仏教の欠点を補う形で、ヨーガを取り入れることでx軸も取り入れた ⇒ y軸とx軸を同時に高めていく形に

ゾクチェン、禪、マハームドラー: x軸重視 (霊的世界、原因界も無視して一気に真我にたどり着こうとする) ⇒ 素質があればできる (けど、普通はできない)

チベット仏教: 生起次第である程度y軸を高め、究竟次第でx軸を高め、ある程度準備ができた段階で、マハームドラーやゾクチェンにより真我にたどり着く

通常は、悟っても再び落ちるを繰り返し (自分が経験したことのない煩惱により)、落ちる度に経験したことないことを経験するまでひたすら繰り返す
菩薩行は、最短ルートで解脱する行

文献: <https://youtu.be/pqllKKnaDo>

～私個人の考察～

様々な文字情報や外からの情報は、精神性と霊的感性を向上させていく上での知識としては必要になってくる。

だが、その外からの情報が本質なのではなく、本質は、精神性と霊的感性の向上による真我への到達にある。

ゆえに、真我に到達すれば、あらゆる情報は真我からもたらされることになり、外からの情報に頼る必要は無くなってくる。

つまり、外からの情報にだけ依存することなく、自らの精神性と霊的感性の向上に集中することが大切であると言える。

【『僕が宇宙の仲間聞いたこと』(著: 中村咲太)を紹介したい】

私はこの内容を、スピリチュアル版仏教またはヨーガの教えだとも捉えています。
宇宙意識という真我そのもので地球を生きるための教えであると共に、古代から長く継承されてきた仏教やヨーガの実践に匹敵するような実践をスピリチュアル版として一般にわかりやすく取り組みやすく表現された実践書でもあると捉えています。

(※もちろん、仏教に限らず、様々な宗教や神話の奥にある本質はどれも共通であるため、仏教またはヨーガに限ったことではないですが、私自身が仏教を探究の中心に置いていたため、このように表現しました)

ここでは目次のみを掲載しますので、参考にしていただけたら幸いです。

目次

はじめに—新しい冒険の始まり—

- ・誰でも宇宙の仲間とつながれる
- ・目醒めていく地球人が急増中
- ・宇宙は、あなたへのサポートを惜しまない

第1章: 僕が宇宙の仲間聞いた宇宙、地球、地球人の関係性と僕らの本質

宇宙には僕らをサポートする仲間がいる

- ・地球の波動が上がると、宇宙の波動も上がる
- ・人間も神さまも宇宙人も、故郷は同じ

誰でも宇宙の仲間と一つになれる

- ・内なる宇宙とのコネクト強くするカギ
- ・「OK！変化する準備ができています！」
- ・現実もちろんよくなるけれど

宇宙の仲間とあなたに上下関係はない

- ・神さまや天使たちを上に見ない
- ・最終的に選択、行動するのはあなた

宇宙意識を思い出すと、魂の喜びがあふれる

- ・これまでの正しい生き方はもうおしまい
- ・あなたの外側に正解はない
- ・宇宙意識でいればすべてが整う

宇宙に好かれ、応援される人の特徴

- ・すべての人の「最善」を祈れますか

僕と宇宙の仲間たちのことをちょっと話すね①

- ・内なる宇宙とおしゃべりしていた幼少期
- ・肉体のまま乗ったUFOでヒーリング

僕と宇宙の仲間たちのことをちょっと話すね②

- ・「ここにいる」だけでいい惑星の日々
- ・次に生まれる惑星と、僕の分身を見つけた
- ・地球での人生を決めるエネルギー会議

僕が生まれたときのこともちょうと話すね

- ・お母さんのお腹から光のほうへ
- ・みんな、人生の光の道を確認して生まれてくる
- ・誕生の覚悟を思い出すと無敵になれる

頭・体・心だけでなく「宇宙の声」を大切にする

- ・小さいあなたから大きいあなたへ

第2章:これからの地球での自分だけの「目醒め」のプロセスの進み方

目醒めの道を決める好機

- ・目醒めの土台を整える
- ・ハワイへのルートは一つではない
- ・どんなことでも、光を感じる選択を

「やれない、できない」はごちそうさま

- ・目醒めの目的はなんですか？
- ・もう失敗は「ごちそうさま」

宇宙意識は、いつも自由で心地よい「ゼロ」

- ・ネガティブもポジティブも地球にお返し
- ・欠けているから、ポジティブに喜べる
- ・ポジティブな喜び、ニュートラルな喜び

目醒めれば現実がよくなるのはあたりまえ

- ・目醒めても目醒めなくても成功はできる
- ・幸せになるために犠牲を払う必要はない
- ・「うっしっし目醒め」にご用心

ネガティブを発揮すると目醒めは進む

- ・不安も怒りも目醒めの扉

目醒めていくと、人のせいにしなくなる

- ・目醒めのエレベーターからズレないように
- ・その現実を映写しているのはあなた

目醒めに必要な課題から逃げない

- ・ワクワクしないこととの向き合い方

眠り続けることを選んだ人との関わり方

- ・「一緒に目醒めてほしい」の言葉は不要
- ・目醒めが進めば、孤独ではなくなる

あなたを目醒めさせられるのは、あなただけ

- ・地球での特殊な目醒めにワクワクしている

第3章:宇宙の仲間と共同創造した目醒めのワークと三つのチャネリング

そもそも、ワークをするのはなんのため？

- ・「忙しくて、できない」？
- ・苦手な人の前でこそワークをするといい

目醒めのワーク①統合

ポジティブ、ネガティブを統合し「ゼロ」に戻る

- ・体感が薄くても大丈夫
- ・一回のワークで、二層手放しておく

WORK1 統合

目醒めのワーク②グラウンディング

地球で生きるうえでの土台を安定させる

- ・行動力、集中力が増して目醒めが加速
- ・足の裏を使ってエネルギーをやりとり

WORK2 グラウンディング

目醒めのワーク③センタリング

あちこちに散らばったエネルギーを呼び戻す

- ・不必要な情報を洗い流す
- ・松果体の密度と明るさが増す

WORK3 センタリング

目醒めのワーク④宇宙瞑想

宇宙を振動と感覚で捉える瞑想

- ・宇宙の振動がパワフルな光になって届く
- ・ワークを朝ごはんの前の習慣に

WORK4 宇宙瞑想

チャネリング①ワンネスチャネリング

新時代のチャネリング

- ・あなたには、神性も天使性もある
- ・大きな風船のような宇宙をイメージする
- ・心地いい光の波紋がメッセージ

WORK5 ワンネスチャネリング

チャネリング②植物・動物とのチャネリング

言葉がなくても植物や動物と話せる

- ・天使とお花の共同創造

WORK6 植物・動物とのチャネリング

チャネリング③ものとのチャネリング

もののエネルギーを読んで買い物上手に

- ・どんなものを選ぶかで、未来が変わる

WORK7 ものとのチャネリング

おわりに—僕らは宇宙の旅人—

商品 URL:<https://www.amazon.co.jp/gp/product/4046061227/>

【(【宇宙くんの手紙】中村咲太 より)「源の先には何がある? ★ 宇宙に意味を与える存在」の内容を紹介したい】

●宇宙はどうやってできたの?

- ・まずは空間ができた
- ・そしてその空間が、今、今、今と存在し続けることで時間が生まれた
- ・1つの時空間に、複数の時空間が重なって存在することでパラレルができた
(立時空間:パラレル)
- ・このパラレルには光の密度があり、光の密度によって分離が起こった
光の密度で層に分かれて、次元が生まれた

この工程をいろいろなパターンで生み出している⇒宇宙は何個もある

この複数の宇宙が隣で揺れている

1つの宇宙の体験成長がある程度完了されると、隣同士で宇宙がぶつかるようになる
宇宙と宇宙がぶつかる現象=ビッグバン

これにより、新しい1つの融合された宇宙がまた生まれる

つまり、別の宇宙 A と B がかつてあり、それが揺れてて、ある時 A と B がぶつかった
時に、ビッグバンが起き、1つの融合された新たな宇宙が生まれる

⇒新しい宇宙に移行して続きをやるイメージ

●宇宙(源、創造主)の、さらに先はどうなってるの?

- ・8次元にいくと、ある程度自分の意志で源まで還ることができるようになる
それまでは着々と上がっていくしかない

・次元が上がるとは、光の密度が高くなり、時空間の存在濃度が薄くなる
次元が上がるほど、存在濃度は薄くなり、ただの愛、ただの光になっていく
そうするとだんだん「存在しているような、していないような」不思議な領域になっていく
存在は確かにしているんだけど、存在しているという感覚が薄くなっていく

源まで還ると、時空間が存在しない領域になる

源は「存在している」と「存在していない」の境目にいる

源の向こう方は「存在していない」領域

つまり、源のさらに先は存在しない

●宇宙にはどんな「意味」があるの?

- ・宇宙に意味はない

・源が拡大していく理由はない

・「意味がない」というのは「宇宙の愛」

もしも、意味があったら、僕たちはそのために生きなければいけない

僕たちが「本当の自由」を学ぶために、宇宙は意味を創らなかった
だからこそ、「眠り」も「目醒め」も選べた

僕たち自身が源の分身であり、源そのもの

源の根本が意味を創らなかった代わりに、人生や宇宙にどんな意味を与えるかは、僕
たち1人1人の自由に任せられている

「この人生を通してこういうことを学びたい」「こういう経験体験をしたい」

意味＝希望

希望の無い意味は、ただの義務

希望のある意味を与えたら良い

宇宙には意味が無いから、「あなたという神さま」が意味をプレゼントする

あなたが自由に希望のある意味を与える

それが、無限の可能性

源の先には何がある？ ★ 宇宙に意味を与える存在

<https://youtu.be/ykxKbEHMkxA>

YouTube チャンネル

【宇宙くんの手紙】中村咲太 <https://www.youtube.com/@user-ic1js1so7j/videos> より

【『スピリチュアルゲームとしてのポケモン Go 遊んでいるうちに悟れたりする』(著:豊川博圭)を紹介したい】

ポケモン GO で言うとポケモンたちが「この世ポジション」、私たちトレーナーが「あの世ポジション」

パラレルワールド

ポケモン GO の空間もトレーナーの数だけある

ポケモントレーナーの成長過程は、人間のそれに酷似する

魂は自らを成長させるためにこの世に降り立ち、人体という乗り物に乗った

しかし脳はこの世の存在であり、魂の都合は知ったことではない

魂の目的は成長 脳の目的は維持

魂の目的は挑戦 脳の志向は安全

生まれたての赤ちゃんは誰でも魂主導

5歳くらいから本格的に脳が意識に侵入する — 前世、生まれる前の記憶が無くなる

人は長じて気づきを得、囚われを外すたびに、徐々に魂主導に戻っていく

魂主導

脳⇒体⇒魂⇒脳

脳主導

脳⇒魂⇒体⇒脳

魂主導

PDCA

P:仮説と行動計画 D:実際に行動 C 結果に直面 A:気づきを得る

P:気づきを上に次の仮説と行動計画

そもそも一生が一つの PDCA

生まれる前にプランし、脳が意識に侵入するのと折り合いをつけながら一生を生き、死んだ後にその一生をチェックし、気づきを得る

PDCA の中核は行動

脳の中でぐるぐる考えていても仕方ない 行動に移しなさい

反対にこの PDCA が嫌いなのが脳
人生は魂と脳との綱引き

楽しんだ人が勝ち
感情、特にネガティブな感情は、これを客体として観察し、その移り変わりを愛でるのが一番

世で言う成功体験とは、結局、心のブラックホールを蒸発させた体験なのでしょう
魂が脳の抵抗を振り切って挑戦し、成果を得た体験

ボゾン:フェルミオンに力を伝える性質
魂と脳は実体があるのでフェルミオンに例えられ、お金はその実体を動かすからボゾンに例えられる

ボゾンとして機能する条件:不足状態にあること

なぜ4次元以上の存在であり、瞬間移動できる魂が、この不自由な3次元空間に降りてきたのでしょうか
それはきっと、あえて移動の困難を作り、上の次元の世界では味わえないボゾンを味わうためなのです

(ボゾンに)「踊らされている」と取ることもできるし「楽しませてもらっている」と考えることもできる
スピ的には「楽しませてもらっている」を採用する
自らジェットコースターに乗ったのに「連れまわされている」と考えるのは損

マズローの欲求5段階説

第一段階 生理的欲求

第二段階 安全の欲求

第三段階 所属と愛の欲求

第四段階 承認の欲求

第五段階 自己実現の欲求(ここで魂と脳のベクトルが一致する)

+

第六段階 自己超越欲求

私たちの魂が今プレイしている人生というゲームのゴールは、このレベルに到達し、脳を乗り越えることなのかもしれません

(解脱のための必要条件:第五段階以上に達し、魂が脳を乗り越えることではないか)

人がパズルを完成させた状態

⇒その人は心穏やかに本性で仕事をして、それにより生計が成り立つとともに社会に貢献でき、そのなかで脳が必要とする第一段階から第五段階のボゾンを自然に調達できる

魔は引き続きやってくるが、魔ボゾン受容体が二重耐性になっているので刺さらない心に小さなブラックホールができたとしても、すぐに蒸発する

私たちの世界とポケモン GO の世界との関係は、私たちが霊界と呼んでいる世界と私たちの世界との関係にそっくりではないか

つまり一種のフラクタルではないか

本書は、この単純な気づきから生まれた

商品 URL:<https://www.amazon.co.jp/dp/B07JH7K67L/>

【[新記事]ヨーガ・スートラの内容について】

ヨーガ・スートラの内容に感銘を受けたので、解説している動画をベースに目次とそのURL を載せたいと思います。

AmritaChannel より

ヨーガとは心の作用を滅尽することである

5種類の心の作用

心の作用を滅尽する方法

「修習」

「離欲」

※関連内容:四念処、慈悲の瞑想、徳、十二縁起

文献

ヨーガの原典『ヨーガスートラ』をわかりやすく解説【ヨーガの目的とは】【ヨーガにおいて最も大事なこと】【ヨーガをすることで得られるもの】「完全解説『ヨーガ・スートラ』(1)」
<https://youtu.be/2as1q25w3RY>

有想サマーディ

尋(ヴィタルカ)と伺(ヴィチャラ)

仏教のサマーディとヨーガ・スートラのサマーディ

無想サマーディ

低い解脱にはまるな

サマーディに入る方法:五根五力

サマーディに入る方法:強い熱情

サマーディに入る方法:自在神への祈念

サマーディに入る方法:聖音オーム

ヨーガの障害

文献

「サマーディ(深い瞑想)の種類」「サマーディに入る方法」「熱意を高める方法」-【完全解説】ヨーガ・スートラ(2)

<https://youtu.be/EgdzNzgRius>

四無量心

呼吸法

内的感覚への集中

光明への集中

聖者への集中

睡眠中に得た叡智への集中

好ましいものへの集中

あらゆるものへの支配力

サマーディの定義

サヴィタルカ・サマーディ

ニルヴィタルカ・サマーディ

サヴィチャーラとニルヴィチャーラ

有種子サマーディ

真理に満たされた智慧

智慧のサンスカーラ

無種子サマーディ

文献

瞑想を深めていくための具体的方法 -【完全解説】ヨーガ・スートラ(3)

<https://youtu.be/ipn0W6YodPs>

クリヤー・ヨーガ

クリヤー・ヨーガの目的

五つの煩悩の

煩悩の田地

無明

我想

愛著と嫌悪

生命欲

心の逆転変【人はなぜこの世に生まれ、そしてどこに向かっているのか】

瞑想による除去

業遺存

カルマの法則

三苦

除去すべきもの

苦しみの原因

見られるもの

グナ

見るものと見られるもの

真我独存

七段階の最高の叡智の基盤

※関連内容:薫習、グナ

文献

「人はなぜこの世に生まれ、そしてどこに向かっているのか」「クリヤー・ヨーガの目的」
他_【完全解説】ヨーガ・スートラ(4)

<https://youtu.be/GByEO-mwQyU>

不純正の破壊

アシュターンガヨーガ「ヨーガの八段階の修行」

ヤマ(禁戒)

大誓戒

ニヤマ(勸戒)

妄想に対する念想

アーサナ

プラーナーヤーマ(呼吸法)

第四の調気

プラティヤーハーラ(制感)

※関連内容:バガヴァッドギーター、蓮華座

文献

「ヤマ(禁戒)とニヤマ(勸戒)」「アーサナ」「プラーナーヤーマ(呼吸法)」他_【完全解説】ヨーガ・スートラ(5)

<https://youtu.be/axA562lZomI>

禁戒・勸戒のメリット

他を害さないことのメリット

誠実のメリット

不盗のメリット

梵行のメリット

不所有のメリット

清浄のメリット

知足のメリット

苦行のメリット

読誦のメリット

自在神への祈念のメリット

プラーナーヤーマのメリット

※関連内容:四念処、入菩提行論

文献

「禁戒と勸戒と呼吸法の驚くべきメリット」「過去生を思い出す方法」_【完全解説】ヨーガ・スートラ(6)

<https://youtu.be/zjUbd00iRRo>

ダーラナー(集中)

ディヤーナ(瞑想)

サマーディ(三昧)
サンヤマ(綜制)
サンヤマ(綜制)から輝き出る智慧
より深奥に向かって
止滅転変
サマーディ転変
心の専念転変
各種の転変

文献

瞑想の深まりの三段階のプロセス(サンヤマ) _【完全解説】ヨーガ・スートラ(7)
<https://youtu.be/CBliWZL-o6Y>

すべての生き物の声を理解する能力
宿命通
他心通
他心通の範囲
透明になる能力
自分の死期を知る能力
種々の力
超人的なパワー
遥か遠くのものを見通す能力
宇宙、星の配置、星の運行に精通する能力
体内の組織を知る能力
飢えと渴きを消す方法
心身の堅忍性
神霊を見る能力
すべてを知る能力
心を意識する能力
真我の叡智

関連内容:八正道、四無量心

文献

「他人の心を読む能力」「すべての生き物の声を理解する能力」「星の配置を知る能力」他_【完全解説】ヨーガ・スートラ(8)

<https://youtu.be/Sqm8UgBfluQ>

他人の身体に入り込む能力

水の上を歩く能力、意のままに死ぬ能力

体から炎を発する能力

天耳通

空中浮遊をする能力

大脱身、幻身

五大元素を支配する力

諸器官を支配する力

全智全能

識別の叡智

真我独存の境地

関連内容:ナーローの六ヨーガ

文献

さまざまな神通力の【原理】と【身につける方法】_「空中浮遊のやり方」「他人の身体の中に入り込む能力」「天耳通」他 _【完全解説】ヨーガ・スートラ(9)

<https://youtu.be/bcvgx2nefPo>

【「二極化」と「目醒め」の真実について(しんたん スピリチュアル 3.0 より)】

「二極化」と「目醒め」の真実

目醒め:五次元

眠り:三次元

不安を払拭して完全に目醒めを選ぶ方法

結論:「答え合わせ」をしない

スピリチュアルリーダーの言葉をヒントにするのは良い

その言葉を聞いて、自分はできていないのではと不安になるその思いが眠り側に行く
ジャッジをしたことで眠りに行くのではなく、自分はまだジャッジをしてしまってるから眠り
を選択しているのではないかという不安の波動と周波数が眠り側に引き寄せていく

ということは、そもそも「答え合わせ」をしなければ、不安になんてならない

ヒントにするのは良い。

答え合わせをしなければ、ヒントにしていくことができる。

子供の頃からの学校教育を受けていく中で、常に正解を求めて、その正解に自分の
行動を照らし合わせてやっていけばやっていけるという洗脳を受けてきている
ゆえに、スピリチュアルリーダーが発した言葉を「これが正解なんだ」と受け取り、その
正解を選ばなければ自分は眠り側に行ってしまうという不安が沸き起こって来る

正解を選べば良いステージに行ける、は幻想

現実を生きていく中で自分では解決できない悩みがある
だから、スピリチュアルの門をたたいたのではないだろうか
なのに、そこでまた答え合わせをしても仕方がない

ヒントにして、そのヒントを受け取って、なるべく自分を認められる自分でいよう
たまにはジャッジしたって良いじゃないですか

そこでまた誰かと喧嘩してしまったら、次は喧嘩ないように現実的なアプローチで工夫をする

特定のスピリチュアルリーダーに教えをずっと学んでずっと答え合わせをしながら進んでいきたいです ⇒ ずっと答え合わせをし続けなければいけない
⇒人生が答え合わせで終わってしまう

そもそも、「目醒め」「眠り」という分離感の考えをもたないほうが良い
本当の目醒めは、眠りに対比した目醒めではない(結局二元)

分離を統合していく

ということは、目醒めが良くて眠りが悪いというのもジャッジではない

本当の目醒めは、目醒めの生き方も、眠りの生き方もオール OK

自分にどんなことが起こっても、自分の人生に眠りと思われるようなことが起こっても、
目醒めと思われるようなことが起こったとしても、

自分は自分の人生を生きようという決意をすること

それが目醒めの生き方

大丈夫だと思うこと

文献

【並木良和さんが好きな方へ】「二極化」と「目醒め」の真実。新地球で最高の人生がはじまります。

<https://youtu.be/BE12SzrMC4>

【お金の本質と、現実の本質について、私個人の解釈】

実はお金そのものに、本質的な意味は無いのではないかと私は思う。
お金そのものに意味があるのではなく、お金を通して「どんな想念を生み出すか」に本質的な意味があるのではないか。

源をニュートラルな0に例えるなら、
我々の住む現実世界は、ポジティブな想念とネガティブな想念の振幅がとてつもなく大きい世界であるといえる。
そして、より高次元の存在になるほど、ポジティブな想念とネガティブな想念の振幅が小さくなっていくのであろう。

つまり、現実世界を認識するとは、そのポジティブな想念とネガティブな想念が、現実としてスクリーンに映し出されている状態であるといえる。

ポジティブな想念とネガティブな想念は表裏一体であり、ポジティブな想念の体験度合いが大きいほど、その反動でその分のネガティブな想念を体験する。

一方、ニュートラルな想念は、ポジティブな想念とネガティブな想念の振幅を小さくしてくれる作用があり、それがすなわち「浄化」であるといえる。
「統合のワーク」とは、ニュートラルな想念により、ポジティブな想念とネガティブな想念の振幅を小さくする浄化作用のことであり、
統合のワークと同様の効果として、「徳を積む」があると思われる。
また、「目醒めや眠りという二元のジャッジをしない」という思考法も、その作用というのは「統合のワーク」と同様であると思われる。

お金をポジティブな想念に使うこともできれば、お金をニュートラルな心地良い想念に使うこともできる。
お金そのものに意味は無く、お金を通してどんな想念を生み出すかに本質的な意味がある。

人間関係も同様であり、人間関係を通してどんな想念を生み出すかに本質的な意味があるといえる。
ネガティブな想念を与えると、与えた側も与えられた側も同様にネガティブな想念を生み出す。それにより波動は低くなっていく。

ポジティブな想念を与えると、与えた側も与えられた側も同様にポジティブな想念を生み出す。

だが、その反動でネガティブな想念というカルマも生み出す。

そして、ニュートラルな想念を与えると、与えた側も与えられた側もニュートラルな心地良い想念を生み出し、浄化作用を生み出す。これにより、波動は上がっていく。

目醒めている人の特徴に、心地良さからブレないという特徴があると思われる。

それと共に、様々な制限の概念を外していつているという特徴もあると思われる。

世界一周動画を YouTube に投稿されている方がいる。

その人は、たしか400万円くらいを貯めた後、脱サラして世界一周を成し遂げた人。

実際に世界一周動画を見て思うことは、世界一周するには決して多くは無いお金を、「現地の人とのコミュニケーションと信頼関係を築くこと」によって乗り切っていることがわかる。

そして何よりも、何が起こるかかわからないような場所に1人で飛び込んでいって、現地の人とすぐに仲良くなるという、

このマインドが、制限を外していった先にあるマインドではないかと私は思う。

また、ほかの投稿者の中には、自分の人生観を変えるためにインドに行きたいと言い、英語もつたない、ヒンドゥー語ももちろん話せない、そんな中本当にインドに行って楽しんでしまう、そんな動画もある。

そこからわかることは、「英語がしゃべれないから…」という概念も眠りの幻想なのだということである。

また、某 YouTuber でヒッチハイクだけで国を横断しようとする動画もあったりする。

「お金が無いから…」というのも眠りの幻想なのかもしれない。

もちろん、海外旅行に限ったことではなく、様々な場面においても同様のことが言えるのかもしれない。

そしてこれらの例からわかることは、

鍵となるのは「人との繋がり」であり、人との繋がりさえあれば、様々な制限を超えることができるという事実である。

目醒めている人は、人との繋がりですべての制限を超えていつているように思えます。

また、そういった「制限を超えていく人」がいる、その裏には、そういった人たちを陰ながら支えている人たちがいるという事実もあり、
陰ながら支える人たちもまた、目醒めの波動があるからこそ支えることができるのだと思います。

【もしも地球が「お金のいない国」だったら(【宇宙くんの手紙】中村咲太 より)】

お金をもらうために仕事をしているという意識が現代は強いけど、本来の仕事はお金をもらうためのものなのだろうか？

それぞれの人が自分のやりたいことや、やれることをやっていく。
素直に自分の能力をいかした仕事を見つけれる。
お金のためにやりたくないことをやる必要もなくなる。

みんなが嫌がる仕事は誰がするのか？
その仕事が必要ならば、絶対誰かがやる。

本当に自分らしく自分を解放してみんなが生きたとしても、パズルのピースは完全にかみ合っていく。

お金が消えたとしても、今の仕事をやりたいかどうか。
本質の自分の道を見極める上でも重要なメッセージ。

アンパンマンの国にはお金がない。
それぞれが与えるものがあり、それを喜んで受け取る人がいて、それで調和が取れている。
凄くユートピアな国。

そもそもお金は自然界にはなく、人間がつくりだした道具にすぎない。

自分のところに来てくれた豊かさに関しては、ありがとうという気持ちと感謝の思いと心地よい思いで受け取り使っていく。

自分がどこで満足できるか？
自分が豊かだと思ったところが豊か。

今に集中していると未来の不安はないから、争いあつたりする必要もなくなる。

自分の中に、お金のいない国を築いてしまう。
それを基準に社会を見る。

お金の存在が良い悪いというわけではなく、お金がフィルターとなって見えなかった本質に気づくことが大事。

お金が存在しない→全部がタダ、何でも手に入る
もしそうになったら、どんなものを持ってどんな生活がしたいか。
最初は一瞬だけ贅沢をする。だが、ある時その幻想に気づく。
誰でも手に入ってしまうから、それ持ってるから凄いなということにはならなくなる。
社会全体でつくってた価値観がフラットになる。
凄いとされていたことが凄くなくなり、みんなが自分軸で生きていく世界になっていく。
自分が良いと思ったものが、その人にとって良い。

働くことがルーティンではなく、生み出すことに変わっていく。
生み出せる人になれば、お金はいらなくなる。
お金を稼いで、そのお金で何かを得ようではなく、生み出す意識になっていく。

ほしいものは、人からもらうことだってありえる。
お金を経由しなくても映し出す方法をたくさん持つようになる。

AIによって奪われる仕事のほとんどは、自分に一致してなかったりすることのほうが多かったりする。
その仕事を離れていった時に、凄く自分に一致した仕事に就いている人たちが増えてくる。

仕事という認識がなく、楽しくてやっていることだから、平日休日という概念もない。
お金というのを意識していないときに、いかに心地よい時間を過ごせるか。

文献:https://youtu.be/_v_ZM5ZAFD4

結婚というの、結婚制度という人間がつくったしくみ
自然界にはない。

結婚というしくみがなかったら、どうする？

繋がり自体は良いこと。

夫として、親として、と演技始めた時が問題。

世の中がつくった肩書を演じるのか？それとも自分らしく生きるのか？

複数の人との間に子供がいる場合もありえる。

恋愛は、カルマの解消で出会ったりもする。

そこに課題があったり、学びがあったりする。

そうなったときに、1人の人とか学びがない人生と、いろいろな人と学びを共有できる人生があった時、いろいろな人と学びを共有する人生は悪いことではない。

例えば、自分の奥さんが成長したいな学びたいなと思ったときに、それを応援できる人でありたい。

相手を自由にさせるのが愛。

いろいろなチャレンジをすることは子供や奥さんに迷惑をかけるのではないか、という罪の意識を手放して行ってチャレンジをしていくということは大事なこと。

ほかの人がどんな生き方をしていようと良い。

ほかにやりたいことができたんだよってなった時に、どうぞ楽しんできてと言えるのが愛。

ずっと一緒にいたいと思えばいけば良い。離れたいと思ったら離れれば良い。

関係に名前をつけない。

独占嫉妬はしない。

過去や未来にこだわらない。

肩書に名前をつけない。

好きなことをやり始めると、何にも当てはまらなくなっていく。

世の中にある肩書や言葉では収まらない何かになっていく。

肩書に縛られないというのは、自分の人生を楽しむキャパを広げてくれる。

苗字にも縛られない。

文献:<https://youtu.be/a92ttAlQbpw>

体調崩す人も減ってくる。
ストレスも減ってくる。

大好きで教えてる人が大好きでワクワクと教えてくれる。
教えることにワクワクした人とワクワク学べる。
YouTube を開けば、知りたいことが学べる。

学校は、喜びを学ぶところが変わっていく。
自分はどういうことをやると喜びが出るんだ。
人によって違う喜びポイントの中、自分の喜びポイントを発見しに行く。
好きな時間に好きな場所から好きなことだけ勉強する。

右も左も後ろも前も八方塞がりになった時に、上がっていくことができる。
意識面の変化にシフトするために起こっている。
上がった視点で見ていくと解決策はたくさんあり、未来は明るい。

お金のいらない国をまず、意識で最初に築いてしまう。
そうすれば、そこにたどり着くのが早い。
順番に積み重ねていくとなかなか上にたどり着かないけど、上の視点を先に想像して
考えてしまう。
その上で現実を見た時に、全然違った見え方がするようになる。

そういう世界にならないとダメとかではなく、自分の心の中にお金のいらない国を築くこ
とは自由。

文献:https://youtu.be/RYoCnGsY_mE

『お金のいらない国』(著:長島龍人)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4902306166/>

<https://www.amazon.co.jp/dp/4902306123/>

<https://www.amazon.co.jp/dp/4902306158/>

<https://www.amazon.co.jp/dp/4902306182/>